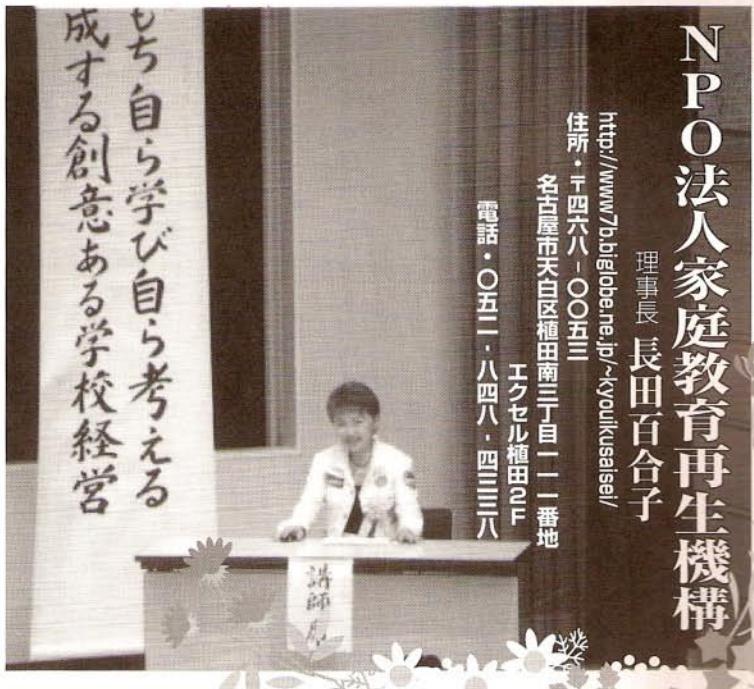


NPO法人家庭教育再生機構

理事長 長田百合子

**住所・〒四六八-〇〇五三**  
<http://www.bbiglobe.ne.jp/~kyoukusei/>

古屋市天白区植田南三丁目一一番地  
エクセル植田2F  
電話・〇五一・八四八・四三三八



長田百合子：有塾教育学院  
メンタルケア部門代表・エ  
デュケイションライター  
主な著書、「親がかわれば  
子どももかわる」講談社、  
「母さんの元気が出る本」  
新潮文庫、「親なら親らし  
く」新潮文庫など多数。

い薰りを無心のまま  
に漂わせています。

は、切ないほど純真で美しく、朝日に匂うすがすがしい山桜のようだつたのではないでしようか。

昔より日本人は、  
國を愛せよ、家族を  
愛せよ、人を愛し社  
会に役に立つて生き  
よ、と親から、親戚

から、先輩から教えられて育つた若者は、  
ときに止むにやまれぬ戦争に驅り出されま  
した。「お国のためになることは、家族や  
故郷のためになること。だから死ねる」と  
純粹に思い、それを実行に移して彼らは散  
華しました。

『敷島の大和心をひと問はば 朝日に  
匂ふ 山桜花』

ところが戦後五十年、奇跡の復興を遂げ

世界第二位の経済大国にのしあがつた頃から、この国は方向性を変えてしました。特にここ十年、眼に見えて異常な方向へと向っているように思います。

自己愛、自己中心主義、希薄としかいえない道徳心や正義感、責任が伴わない自由主義、結果の平等という空疎で軽薄な平等主義、そして、義務を軽視した極端な人権主義など、今、世界が驚き呆れるほどの非常識で覆われています。

家庭の荒廃は日本の衰退を引き起こし、子供も親もさらに不幸な状況に追い込まれます。明らかに落ちぶれつつある祖国・日本を、家庭教育という国の土台を支える部分から徹底して見直し、早急に立て直す必要があると痛切に思っています。

私はこれまで31年、2千組以上の引き籠りや不登校児の問題解決にあたった経験から、「家庭教育再生機構」を起ち上げ、全国規模の講演活動を通して若い親たちの教育にあたり、崩壊しつつあるこの国を家庭教育という根底から立て直そうと行動を起こしています。せめても日本の子供たちの心に大和心を遺さなくては、二百四十六万余柱の英靈にとても申し訳が立たないと切に思いながら。「家庭教育再生機構」の活動に皆様方の温かなお力添えをいただければ大変幸いに存じます。(長田)